

筑波大学附属病院 総合診療専門研修プログラム（臨床研修：医師不足地域内）

<特徴>

- ・どこで研修してもきちんと指導が受けられる指導体制を実現しています。総合診療の指導医は40名以上が在籍しています。
- ・大学病院のプログラムですが、実際の研修は80%以上が市中病院、診療所で行われるので、さまざまなシチュエーションで数多くの経験を積むことができます。
- ・総合診療専門医のサブスペシャリティとして、家庭医療にも病院総合診療にも対応します。また、緩和医療、在宅医療に進む道もあります。
- ・大学院博士課程で研究（研究専従期間は義務猶予となります）をしたり、出産・育児にあわせたコーディネートをしたり、豊富なキャリアパスを用意しています。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

臨床研修
総合診療専門研修Ⅰ
総合診療専門研修Ⅱ
必修領域別研修(内科、小児科、救急)と大学総診
選択領域別研修(緩和、整形、産婦、リハ等)

総合診療専門研修プログラム

(1) 地域枠(義務年限9年間)

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	(備考)		
ケース1	臨床研修 (地域内)	筑波大学 B	筑波メディカル B	水戸協同 A	診療所 小病院 A	小児 選択 B	病院 内科 A	診療所・ 小病院 A	選択 A or B	診療所・ 小病院 A or B	診療所・ 小病院 A or B	家庭医療に重点を置いたコース	
(総合診療専門医・家庭医療専門医取得)													
ケース2	臨床研修 (地域内)	筑波 メディカル B	筑波 大学 B	診療所 等 A	水戸協同 A	小児 選択 B	病院 内科 A	診療所・ 小病院 A or B	水戸協同 A	選択 A or B	病院 総合診療科 A or B	病院総合診療に重点を置いたコース	
(総合診療専門医・家庭医療専門医取得)													
ケース3	臨床研修 (地域内)	筑波 メディカル B	筑波 大学 B	水戸協同 A	診療所 小病院 A	病院 内科 A	小児 緩和 B	緩和医療に 強い診療所 A	選択 A or B	非がん緩和医療に 強い病院・診療所 A or B	非がん緩和医療に 強い病院・診療所 A or B	緩和医療に重点を置いたコース	
(総合診療専門医・家庭医療専門医取得) (緩和医療専門医取得)													
ケース4	臨床研修 (地域内)	筑波 大学 B	筑波 メディカル B	水戸協同 A	診療所 小病院 A	小児 選択 B	病院 内科 A	診療所・ 小病院 A	筑波 大学* B	産休・育児 B	筑波 大学*1 診療所・ 小病院 A or B	診療所・ 小病院 A or B	出産・育児とのバランスに重点を置いたコース *1: 女性医師支援制度を利用した週30~32時間勤務
(総合診療専門医・家庭医療専門医取得)													
ケース5	臨床研修 (地域内)	筑波 大学 B	筑波 メディカル B	水戸協同 A	診療所 小病院 A	小児 選択 B	病院 内科 A	診療所・ 小病院 B	大学院専従 (猶予) B	診療所・ 小病院 B	診療所・ 小病院 A	診療所・ 小病院 A or B	学位と専門医を取得するコース
(大学院 入学) (総合診療専門医・家庭医療専門医取得) (大学院卒業) (義務年限終了)													

(2) 一般修学(義務年限6年間)

ケース1	臨床研修 (地域内)	筑波 大学 B	筑波 メディカル B	水戸協同 A	診療所 小病院 A	病院 内科 A	小児 選択 A	診療所・ 小病院 A	病院・ 診療所 A			地域枠同様、専攻医の希望に応じた アレンジができます
(認定専門研修) (総合診療専門医・家庭医療専門医取得) (義務年限終了)												

【総合診療専門研修研修病院群】

基幹病院	筑波大学附属病院	
A群病院群(医師不足地域内病院)	総合診療専門研修Ⅰ施設: 北茨城市民病院附属家庭医療センター、大森医院、 ひたち大田家庭医療診療所、小豆畑病院、 笠間市立病院、大和クリニック、利根町国保診療所 神栖済生会病院	総合診療専門研修Ⅱ、領域別研修施設: 北茨城市民病院、ひたちなか総合病院、水戸協同病院、 茨城西南医療センター病院、神栖済生会病院、つくばセントラル病院
B群病院群(医師不足地域外病院)		石岡第一病院、筑波メディカルセンター病院、霞ヶ浦医療センター
C群病院群(県外・海外病院)	希望がある場合は適宜相談(義務は猶予期間となり、研修プログラムの履修期間も延長が必要となる)	

筑波大学附属病院 総合診療専門研修プログラム（臨床研修：医師不足地域外）

<特徴>

- ・どこで研修していてもきちんと指導が受けられる指導体制を実現しています。総合診療の指導医は40名以上が在籍しています。
- ・大学病院のプログラムですが、実際の研修は80%以上が市中病院、診療所で行われるので、さまざまなシチュエーションで数多くの経験を積むことができます。
- ・総合診療専門医のサブスペシャリティとして、家庭医療にも病院総合診療にも対応します。また、緩和医療、在宅医療に進む道もあります。
- ・大学院博士課程で研究（研究専従期間は義務猶予となります）をしたり、出産・育児にあわせたコーディネートをしたり、豊富なキャリアパスを用意しています。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします



【総合診療専門研修研修病院群】

基幹病院	筑波大学附属病院	
A群病院群(医師不足地域内病院)	総合診療専門研修Ⅰ施設: 北茨城市民病院附属家庭医療センター、大森医院、 ひたち太田家庭医療診療所、小豆畑病院、 空間市立病院、大和クリニック、利根町国保診療所 神栖済生会病院	総合診療専門研修Ⅱ、領域別研修施設: 北茨城市民病院、ひたちなか総合病院、水戸協同病院、 茨城西南医療センター病院、神栖済生会病院、つくばセントラル病院
B群病院群(医師不足地域外病院)		石岡第一病院、筑波メディカルセンター病院、霞ヶ浦医療センター
C群病院群(県外・海外病院)	希望がある場合は適宜相談(義務は猶予期間となり、研修プログラムの履修期間も延長が必要となる)	